

村上市簡易水道事業経営戦略の事後検証

1 人口推計

(単位:人)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
給水人口	推計値	10,123	9,906	9,688	9,472	9,254	9,032	8,813	8,590	8,369	8,147
	実績	10,102	9,760	9,118	8,844	8,625	8,327	8,050			
比較		-21	-146	-570	-628	-629	-705	-763			

2 水需要

(単位:千m³)

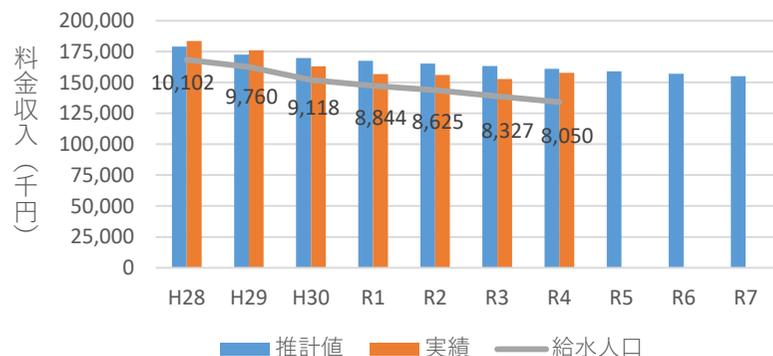
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
有収水量	推計値	1,098	1,074	1,050	1,025	1,001	976	951	926	901	876
	実績	1,107	1,087	1,043	980	977	972	934			
比較		9	13	-7	-45	-24	-4	-17			

3 料金収入(税込)

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
水道料金	推計値	178,984	172,569	169,713	167,537	165,392	163,242	161,123	159,036	156,980	154,955
	実績	183,502	175,989	163,186	156,710	156,181	152,756	157,704			
比較		4,518	3,420	-6,527	-10,827	-9,211	-10,486	-3,419			

料金収入



○人口及び水需要

人口減少の影響により給水人口は年々減少している。

○水道料金

H30年度に基本料金を統一し、R4年6月から従量料金についても、全地区で統一料金となった。(1m³当たり140円)

R2年度から新型コロナウイルス対策としての料金改定延期、R4年度に大雨による災害減免を実施しているため、R2～R4年度推計値に対し△23,116千円となっているが、その補てんとし一般会計から22,781千円(新型コロナ分20,800千円、大雨災害分1,981千円)繰入れした。

【資料1-2】

4 営業費用(税込)

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
経費	推計値	131,994	124,424	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
	実績	133,799	139,041	134,038	136,753	290,127	308,328	321,806			
比較		1,805	14,617	9,038	11,753	165,127	183,328	196,806			

5 営業外費用

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
支払利息	推計値	45,228	42,410	38,001	34,564	30,981	27,357	23,815	20,335	17,242	14,887
	実績	44,717	41,832	35,911	32,682	29,327	26,022	22,804			
比較		-511	-578	-2,090	-1,882	-1,654	-1,335	-1,011			

6 建設改良費

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
投資事業	推計値	469,542	199,834	79,000	67,000	65,000	65,000	70,000	76,000	90,000	100,000
	実績	248,133	326,487	46,556	68,559	48,938	75,173	104,221			
比較		-221,409	126,653	-32,444	1,559	-16,062	10,173	34,221			

○費用

営業費用については、R2の法適用化で減価償却費が計上されることとなり、年間145,000千円程度の費用計上が必要となったため、推計値に比し、実績が大きく上回っている。計画当初では、維持管理費用の上昇を見込んでいなかったが、老朽施設の維持補修費用や電気料金の高騰による動力費の増加により事業費用は増大している。

営業外費用については、低金利の影響から推計値と比べ下回っている。

建設改良費については、令和3年度に漏水が多い山北地区の老朽施設を改良するため基本計画を策定し、R4年度から事業を進めているため増加している。また、予定のなかった高速道路建設のほか県道・市道等改良に伴う補償工事も起因している。

7 企業債発行額

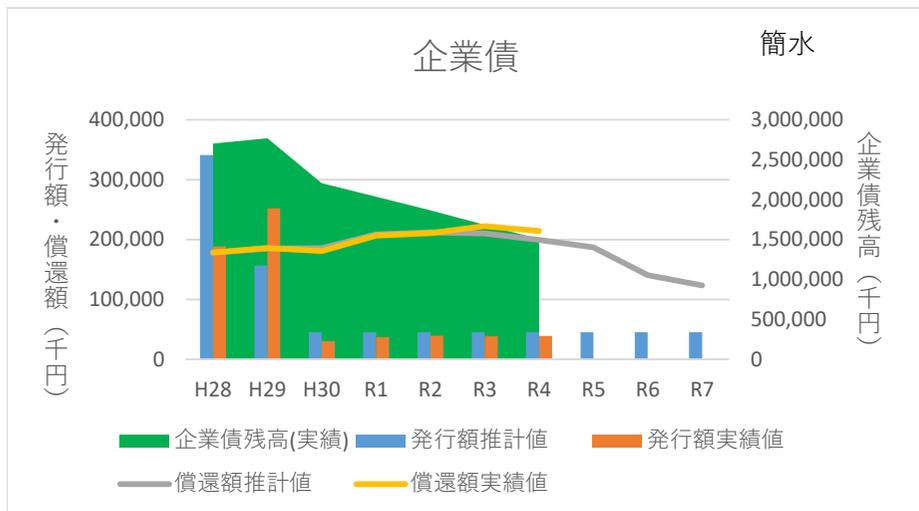
(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企業債	推計値	341,200	156,800	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
	実績	188,500	252,000	30,100	36,900	39,700	38,400	39,266			
比較		-152,700	95,200	-14,900	-8,100	-5,300	-6,600	-5,734			

8 企業債償還金

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
償還元金	推計値	178,236	184,889	185,455	208,518	211,899	210,391	199,279	186,812	140,339	123,396
	実績	178,235	186,108	180,732	206,512	210,701	222,325	214,365			
比較		-1	1,219	-4,723	-2,006	-1,198	11,934	15,086			
企業債残高		2,701,992	2,767,884	2,207,528	2,037,916	1,866,915	1,682,990	1,507,891			
給水人口1人当たりの残高		267	284	242	230	216	202	187			



○企業債
 企業債発行額については、当初計画により施設更新の資金不足を借入し、推計値に近い状況である。
 令和4年8月3日から大雨による災害復旧費用の不足する財源として、令和5年度には、約130,000千円の借入が必要になる予定であり、今後の施設更新費用についても増加していく見込である。
 H28～R4までの企業債発行額は、624,866千円、償還元金は1,398,978千円となり、R4末の企業債残高は、予定より702,128千円減の1,507,891千円である。
 (上水道への一部が統合により、企業債残高も上水道へ承継された。)

【資料1-2】

9 一般会計繰入金(他会計補助金)

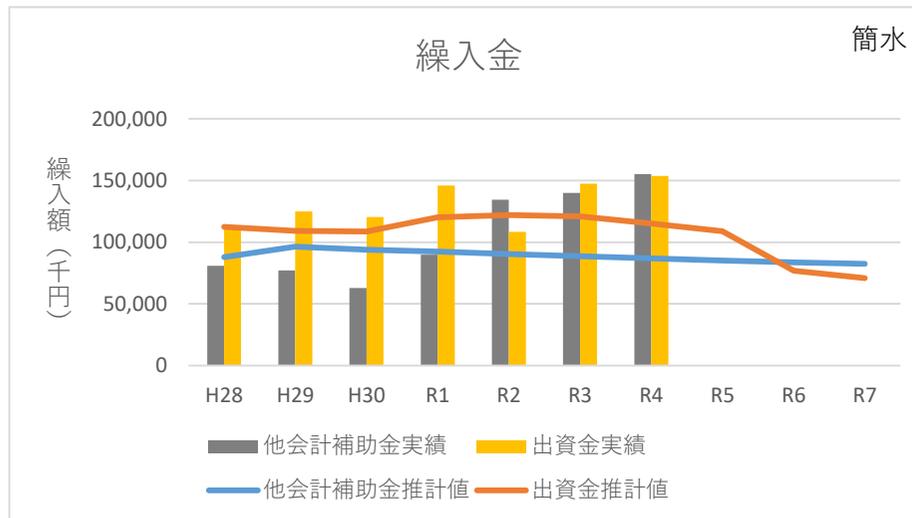
(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
収益的収支	推計値	87,968	96,370	94,000	92,282	90,490	88,678	86,907	85,167	83,620	82,443
	実績	80,912	77,043	62,773	89,979	134,468	139,806	155,146			
比較		-7,056	-19,327	-31,227	-2,303	43,978	51,128	68,239			

10 一般会計繰入金(出資金)

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
資本的収支	推計値	112,407	109,199	108,707	120,228	121,963	120,793	115,029	108,909	76,946	70,850
	実績	111,831	124,825	120,376	145,976	108,337	147,428	153,697			
比較		-576	15,626	11,669	25,748	-13,626	26,635	38,668			



○繰入金

繰入金については、R2の法適用化により、減価償却費用を計上しているため、推計値に比して大幅に増額となっている。

簡易水道事業の繰入金総額については、施設維持管理費等事業費用が嵩んでいるため、増加傾向にある。

R2からR4までは、新型コロナウイルス感染症の影響から料金改定を見送ったため、料金回収不足分を受入している。

(R2～R4 20,800千円)

また、R4.8.3からの大雨災害により、水道料金の減免を実施したため、R4については、災害減免として繰入している。

(R4 1,981千円)